

●この説明書は、必ず交換される方にお渡しください。 ※内は、ロット No. 表示位置を示します。

## ■交換される方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

**▲注意** …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

## ▲注意

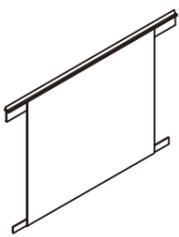
●本製品の落下・転落や、作動不良の原因となるおそれがありますので、下記事項をお守りください。

- ・パッキンは全長がはめ込まれていることを必ず確認してください。
- ・交換用生地にもトムバーを挿入する際には、生地の小口面に傷を付けないようにしてください。
- ・必ず指定のねじで取付けてください。
- ・本体の固定ねじは、 $2.5 \pm 0.5\text{N}\cdot\text{m}$  [ $25 \pm 5\text{kgf}\cdot\text{cm}$ ] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。
- ・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。
- ・2階以上に施工されているスタイルシェードの生地交換をする場合、足場を組むなどの安全措置をとってください。
- ・生地交換は必ず、本体を取外した状態で行ってください。

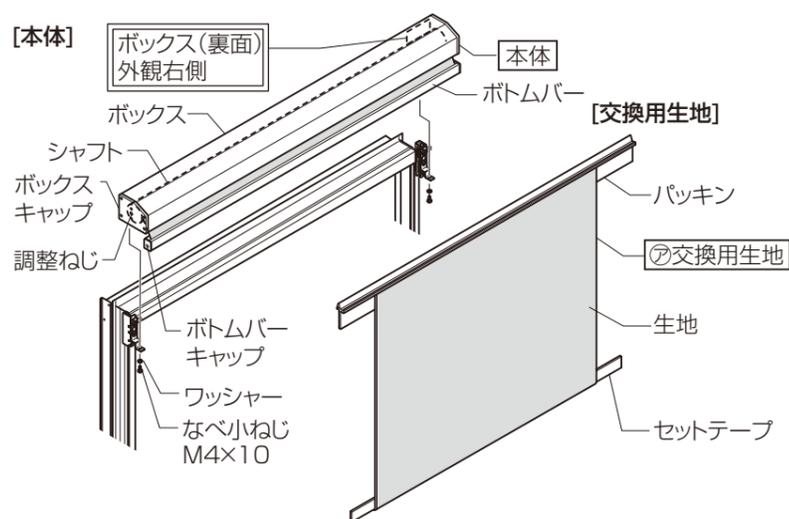
## ■交換時のお願い

- 生地は汚れ・キズが付きやすいので、特に取扱いに気をつけてください。
- 交換作業は2人で行うことをおすすめします。
- ベーシックタイプからデザインタイプ、デザインタイプからベーシックタイプへの生地交換はできません。

## ■部品一覧 (□には部品色記号が入ります)

□-9996-HAAG(ベーシックタイプ) / □-9996-HAAV(デザインタイプ)			
ア	イ	ウ	エ
		※交換説明書にシール止めされています。 	
交換用生地 1セット	交換説明書	ロット No. シール	巻乱れ調整シール 3枚

## ■本体・交換用生地図

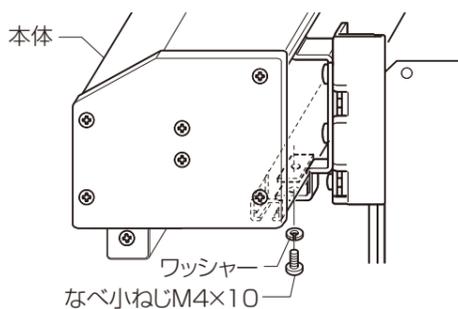


## ■交換順序

### 1 本体の取外し

①本体を取外します。

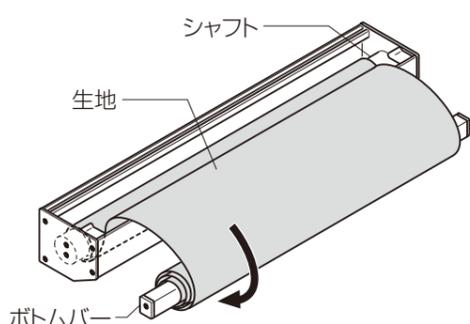
ねじ・ワッシャーは生地交換後、本体を固定する際に再度使用します。無くさないように保管してください。



### 2 生地の交換

①ボトムバーに生地を巻きつけながら、シャフトが見えるまで生地を巻き出します。

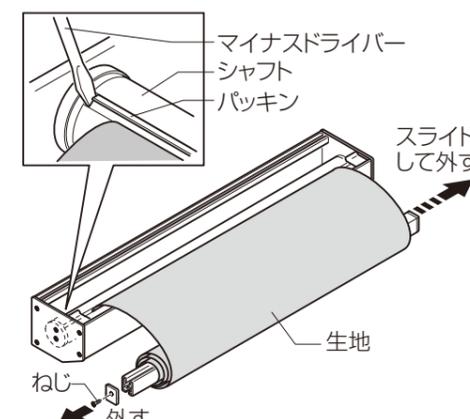
①～④が完了するまで、シャフトが巻き戻らないようにシャフトを押さえながら作業をしてください。



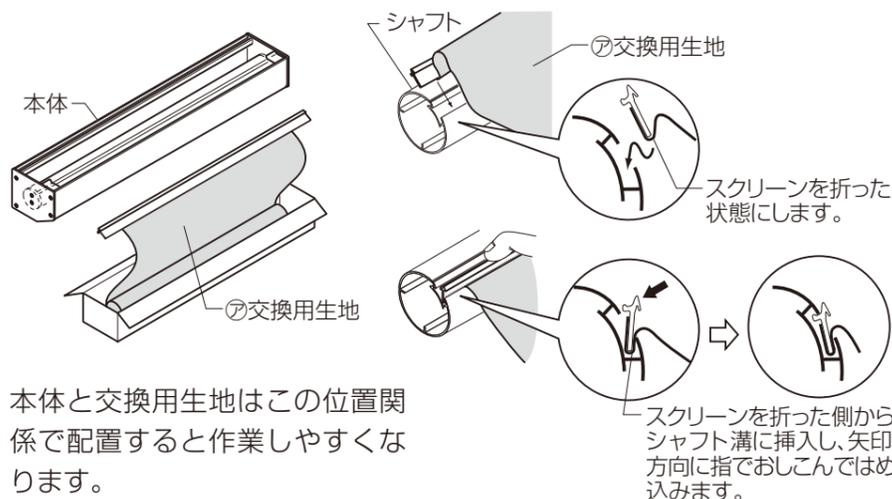
②パッキンの端部にマイナスドライバーを差し込み、パッキンを外します。

③片側のボトムバーキャップのねじを外し、スライドしながらボトムバーを外します。

ボトムバーキャップ・ねじはボトムバーを新しい生地に取り付け後、再度使用します。無くさないように保管してください。



④交換用生地のパッキンをシャフトにはめ込みます。



本体と交換用生地はこの位置関係で配置すると作業しやすくなります。

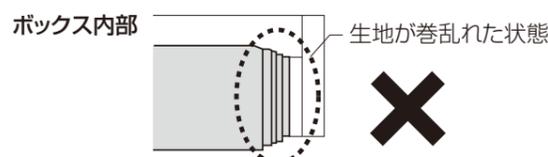
## ▲注意

●パッキンが全長ではめ込まれていることを確認してください。生地のはずれや生地切れにつながるおそれがあります。

⑤シャフトの押えを解除し、生地を 30cm 程度残して巻き取ります。

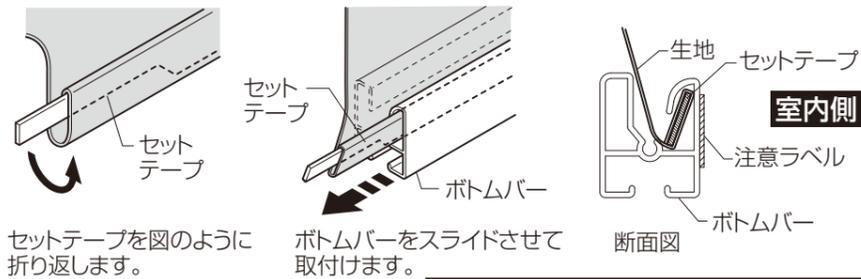
※徐々に手を離しながら解除してください。一気に手を離すと勢いよく生地が巻き取られるため危険です。

※生地の巻乱れが発生しないように気をつけてください。



※交換用生地をシャフトにはめ込む前に、シャフトを巻き戻してしまった場合には、裏面の「■シャフトを巻き戻してしまった際の対応について」の手順に従ってください。

⑥ボトムバーをスライドして交換用生地に固定し、ボトムバーキャップを取付け直してください。



セットテープを図のように折り返します。

ボトムバーをスライドさせて取付けます。

**ボトムバーの向きに注意**

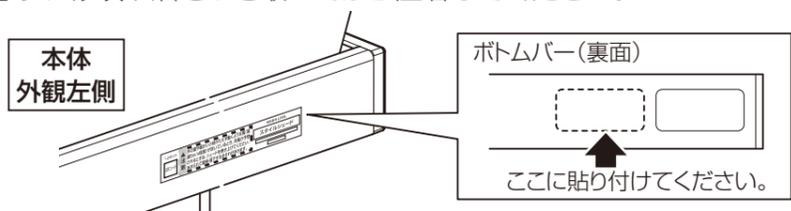
注意ラベルがある面が室内側です。

**▲注意**

●交換用生地にもボトムバーを挿入する際には、生地の小口面に傷を付けないようにしてください。生地切れにつながるおそれがあります。

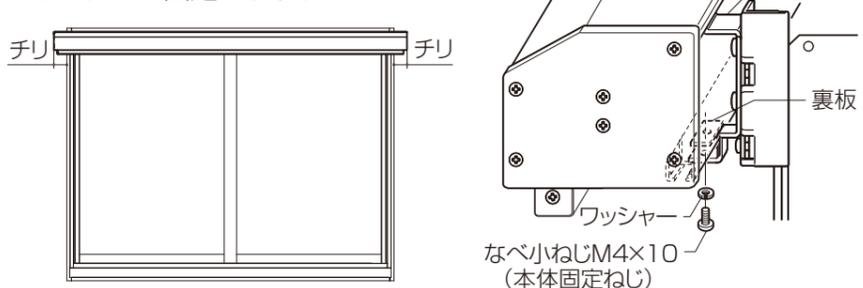
⑦外観左側のボトムバー裏面にある注意ラベルの横に、同梱されているロットNo. シールを貼り付けます。

※必ず、砂埃や油をふき取ってから圧着してください。



**■本体の取付け**

①外したときと同じ要領で本体を固定金具に引っ掛け、左右のチリを合わせ、ねじで固定します。

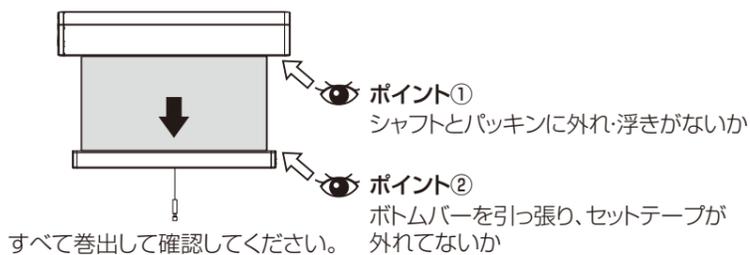


**▲注意**

●本体の落下につながるおそれがありますので、下記事項をお守りください。  
 ・必ず指定のねじで取付けてください。  
 ・本体の固定ねじは、 $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$  [ $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ ] のトルクで止めた後、ゆるみ・ガタツキがないことを確認してください。  
 ・本体固定の際は、必ずワッシャーを使用してください。

**4 開閉の確認**

①生地をすべて巻出し外れがないか確認してください。

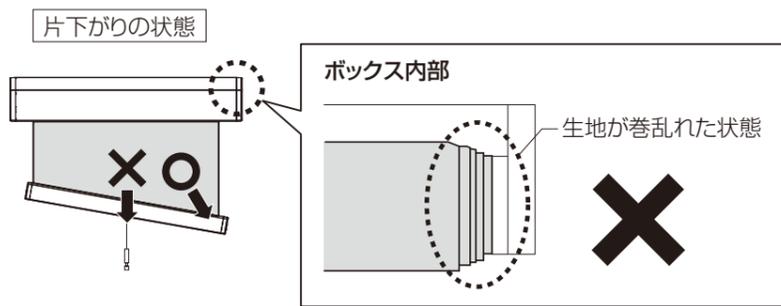


②片下がり（巻乱れ）がないか確認してください。

確認する際は、生地を一番下まで巻出してからボトムバーから手を離し、自動で巻取った状態で行ってください。

片下がりが発生する場合、パッキンがきちんとはめ込まれていない可能性があります。

再度、パッキンがシャフトにはめ込まれていることを確認してください。

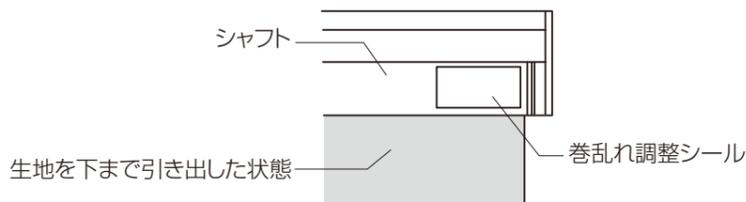


**<片下がりが直らない場合の対処法>**

上記右図のような状態が直らない場合は、巻乱れが発生している側のシャフトに、同梱されている「巻乱れ調整シール」を貼り付けます。

※必ず、砂埃や油をふき取ってから圧着してください。

※1枚で直らない場合は、重ねてシールを貼り付けてください。



③生地巻取り速度を確認してください。

お好みの巻取り速度に変更したい場合は、下記B②に記載の「調整ねじ」にて、速度を調整してください。

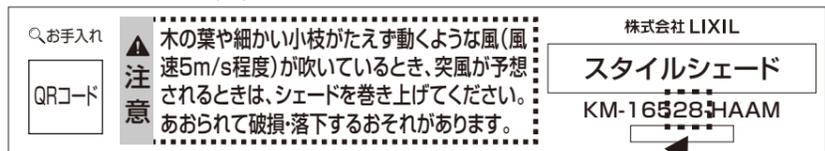
**■シャフトを巻き戻してしまった際の対応について**

シャフトを巻き戻してしまった場合、シャフトの内部に組込まれているスプリングをボックス中央の「調整ねじ」にて巻く必要があります。

**A 巻数の確認**

①ボトムバー注意ラベルの製品サイズを確認します。

ロットNo.シール表記(例)



シェードH	表記
1,210	11
2,180	20
3,100	28

ここを確認してください。  
この表記の場合 シェードH : 3,100mmを示します。

②下記の「巻数一覧表」より、巻数を読み取ります。

●巻数一覧表

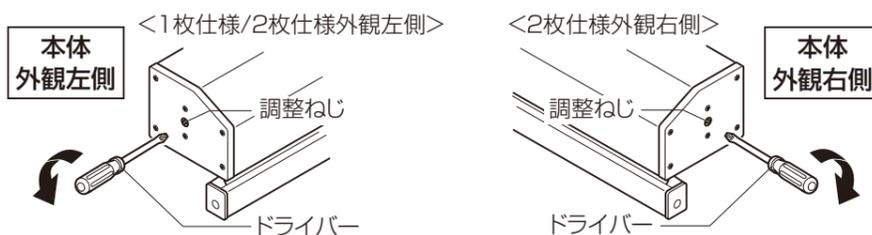
シェードH (mm)	タイプ	シェードW (mm)		
		1枚仕様		2枚仕様
		700~1,800	1,805~2,030	2,040~2,980
1,280	ベーシックタイプ	17	20	19
	デザインタイプ	13	16	13
2,180	ベーシックタイプ	17	20	17
	デザインタイプ	14	9	14
3,100	ベーシックタイプ	17	20	17
	デザインタイプ	14	9	14

**B 調整ねじの巻取り**

①交換用生地のパッキンをシャフトにはめ込み後、「調整ねじ」を矢印方向に指定回数巻いてください。

※シャフトは手で巻かないでください。本来とは逆方向に巻かれるなど、破損の原因になります。

ねじを巻く際にねじ山をつぶさないよう、十分気をつけてください。この部品は交換できません。



②生地が残る 30cm 程度まで巻き取られたところで、調整ねじを巻く作業をいったん止めて、2 生地の交換の⑥ボトムバーの取付けを行ってください。取付けが完了したら、再度調整ねじを残り分巻いてください。

③2-⑦~4の手順に従い本体の取付け・開閉の確認を行ってください。